

## 子どもが意欲的に取り組むストーリー性のある単元構想

### ＜中学校社会科(歴史的分野)の例＞ ☆ 歴史の大きな流れを理解することが大切です！

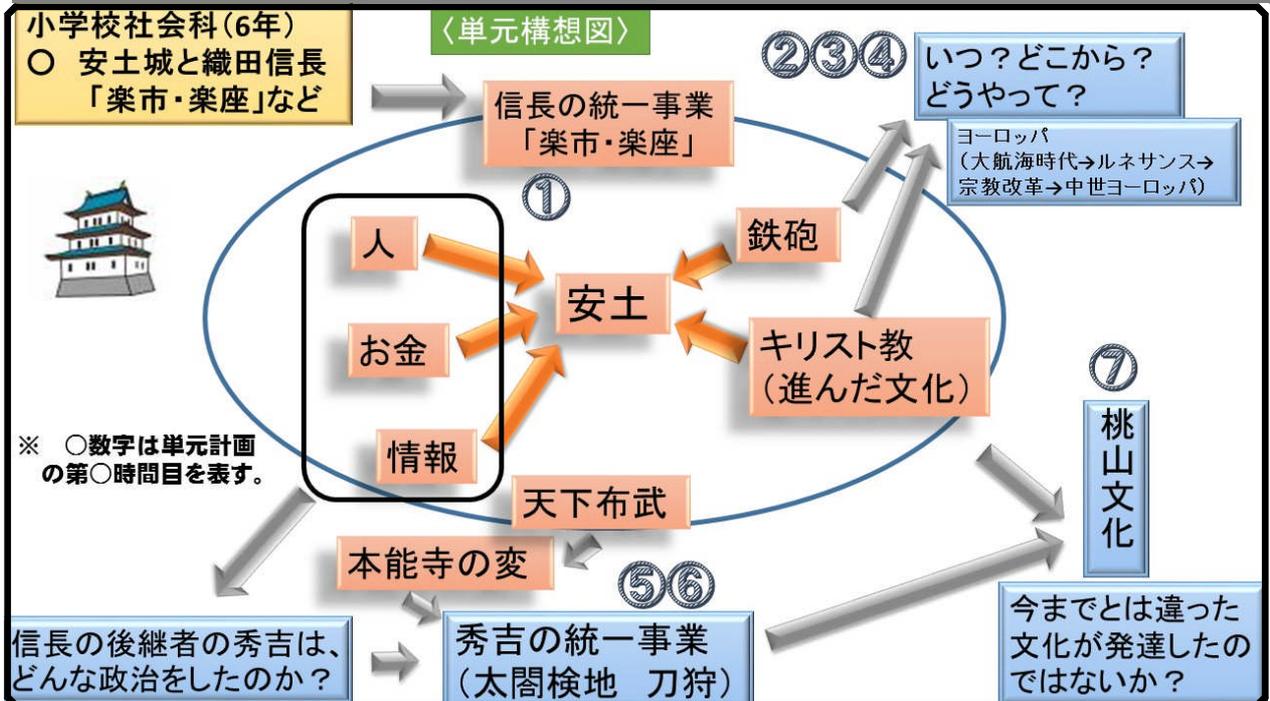
歴史的分野の学習では、学習内容の構造化と焦点化により、歴史の大きな流れを理解させることが大切です。焦点化された教材で「歴史の大きな流れ」を理解した生徒は、興味・関心が高まり、細かな学習事項についても意欲的に身に付けようとしています。

生徒は、歴史の大きな流れの中の事象に出会うことにより、追究意欲が高まったり、見通しをもったりする時があります。その意識を生かして、ストーリー性のある単元展開を構想することも可能です。その一例を紹介します。

- 単元名「ヨーロッパ人との出会いと全国統一」
- 単元のねらい  
戦国の動乱、ヨーロッパ人の来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の発展などを通して、**近世社会の基礎がつけられていったことを理解することができる。**

この単元では、秀吉の太閤検地、刀狩の政策等により、近世社会の基礎(知行制や兵農分離)ができたことを理解できるようにする。

本単元の1時間目に、信長が安土を楽市・楽座にしたことにより集まった人材・情報・金・鉄砲等が天下布武に大きく影響したことを学習する。その上で、「これから学習したいこと」を話し合うことにより、ヨーロッパや秀吉の業績に目を向け、単元の見通し(ストーリー性)をもつことができるようにする。



#### ○ 単元計画

	主な学習内容・学習課題
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入(信長の統一事業) 「信長が安土を楽市・楽座にしたのはなぜか。」</li> <li>○ 単元の学習計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄砲やキリスト教はどこから?</li> <li>・ ヨーロッパで何があったのか?</li> <li>・ 信長の後継者秀吉の政治とは?</li> <li>・ 信長、秀吉の頃の文化は?</li> </ul> </li> </ul>
②	○ ヨーロッパ人との出会い 「どこから鉄砲やキリスト教が日本に伝わったのか。どんな影響があったのか。」
③	○ ヨーロッパと外の世界 「ヨーロッパ人はどんな目的で世界に進出し、どのような影響を与えたのか。」
④	○ キリスト教世界とルネサンス 「なぜヨーロッパ人が大航海できるようになったのか。そのころのヨーロッパはどんな社会だったのか。」
⑤	○ 秀吉の統一事業
⑥	「秀吉はどのようにして天下を統一したのか。」
⑦	○ 桃山文化 「桃山文化はどんな文化なのかな。」

生徒の信長に対する興味・関心は非常に高いので、単元の導入として扱い、生徒から出された疑問から単元の学習計画につなげる。

鉄砲とキリスト教伝来について写真や地図等の資料を活用し、当時の人々の驚き等の様子やその後の社会に与えた影響の大きさを実感できるようにする。

写真資料等を活用し、ヨーロッパ人の世界進出を可能にしたルネサンスや日本へのキリスト教伝来に深く関わる宗教改革について学習する。

コロンブス、ガマ、マゼランや香辛料等の資料を活用して、ポルトガルのアジア進出やスペインの南アメリカ等への進出について学習する。

秀吉が行った太閤検地と刀狩りの資料を活用し、近世の基礎ができたことを学習する。また、写真資料を活用し当時の文化について学習する。